

青少年健全育成に関するアンケート調査結果

私学振興・青少年課

1 調査目的

県では、青少年育成支援の指針となる「第4次岐阜県青少年健全育成計画～清流の国ぎふ子ども・若者きらめきプラン～」を策定し、将来の岐阜県を担う青少年の健やかな育成と全ての子ども・若者が社会生活を円滑に営むことができるようにするための支援に取り組んでいます。

そこで、青少年の健全育成に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の青少年育成支援施策の参考とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター818人(郵送モニター:282人 インターネットモニター:536人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和5年10月6日～10月31日

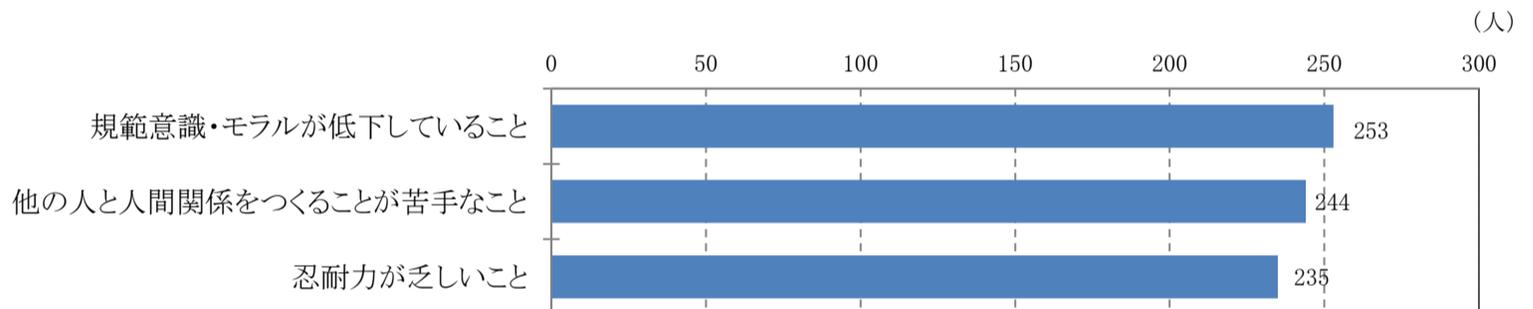
回収結果: 705人(回収率86.2%) ※無回答提出を除く

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

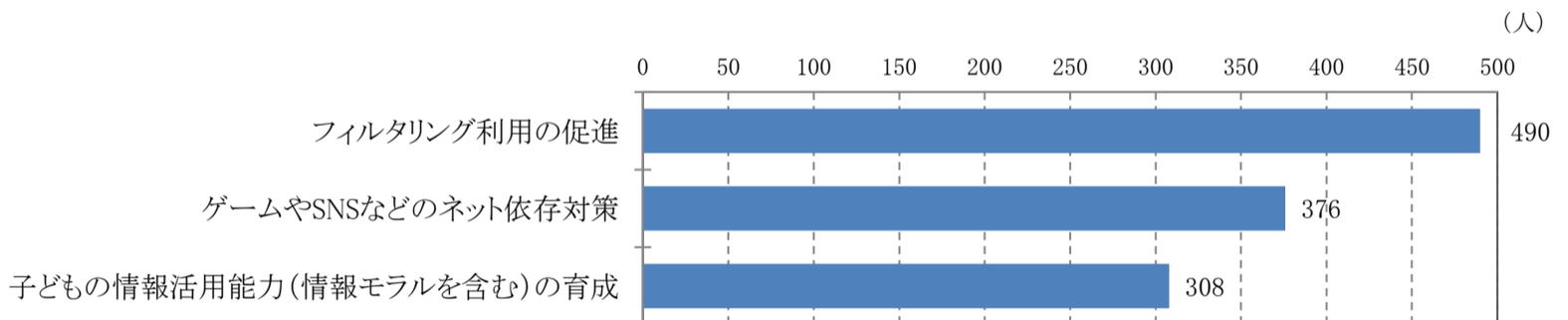
そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

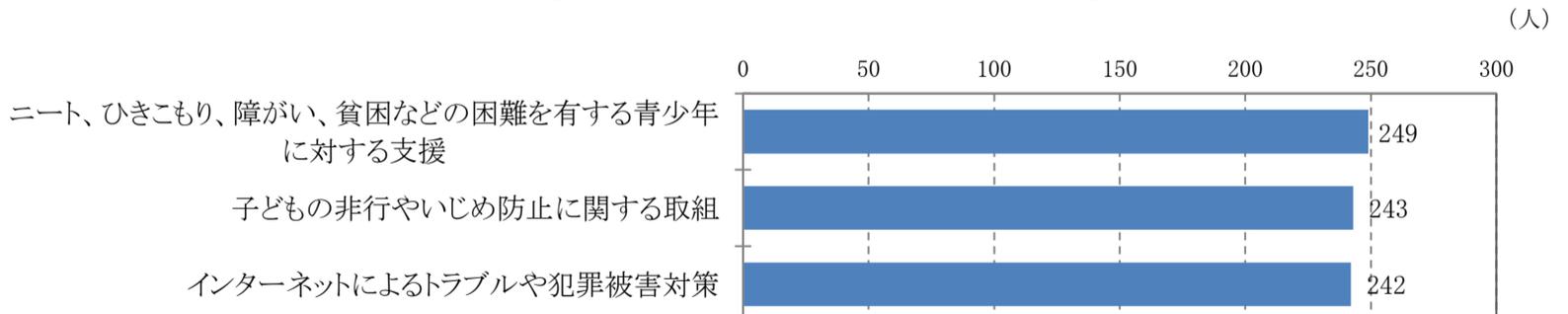
○ 現在の青少年の考え方や行動などについて気になること(上位3つ) (問1)



○ 子どもの安全・安心なインターネット利用を進めるための対策(上位3つ) (問3)



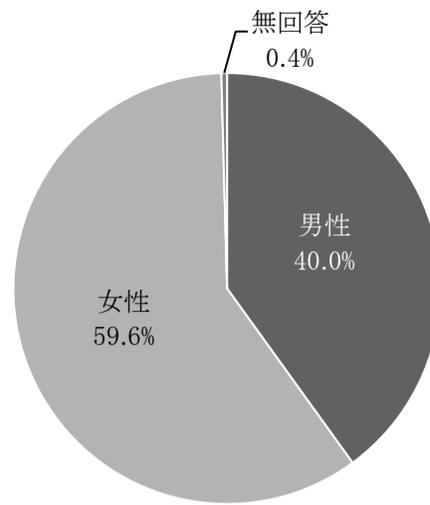
○ 青少年の健全育成のために行政施策として、重点的に取り組むべき施策(上位3つ) (問5)



4 回答者属性

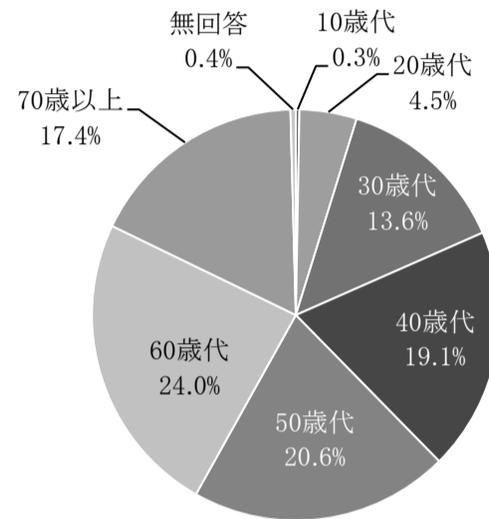
(1) 性別

	人数	割合
男性	282	40.0%
女性	420	59.6%
無回答	3	0.4%
計	705	100.0%



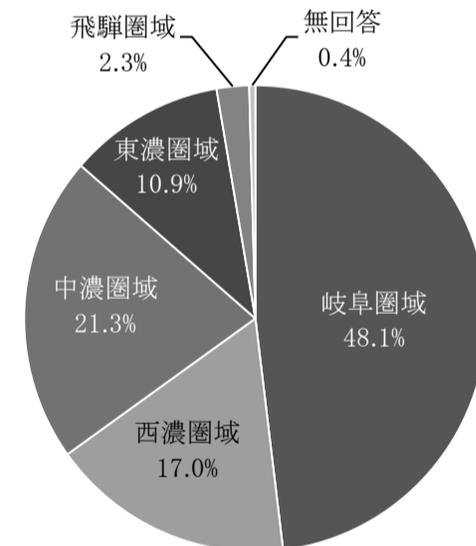
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	2	0.3%
20歳代	32	4.5%
30歳代	96	13.6%
40歳代	135	19.1%
50歳代	145	20.6%
60歳代	169	24.0%
70歳以上	123	17.4%
無回答	3	0.4%
計	705	100.0%



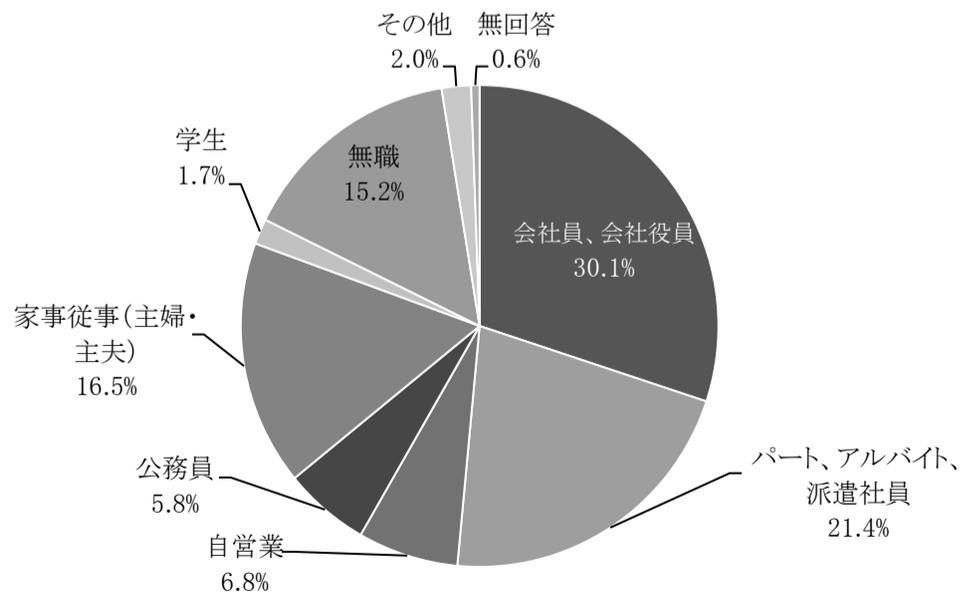
(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	339	48.1%
西濃圏域	120	17.0%
中濃圏域	150	21.3%
東濃圏域	77	10.9%
飛騨圏域	16	2.3%
無回答	3	0.4%
計	705	100.0%



(4) 職業別

	人数	割合
会社員、会社役員	212	30.1%
パート、アルバイト、派遣社員	151	21.4%
自営業	48	6.8%
公務員	41	5.8%
家事従事(主婦・主夫)	116	16.5%
学生	12	1.7%
無職	107	15.2%
その他	14	2.0%
無回答	4	0.6%
計	705	100.0%

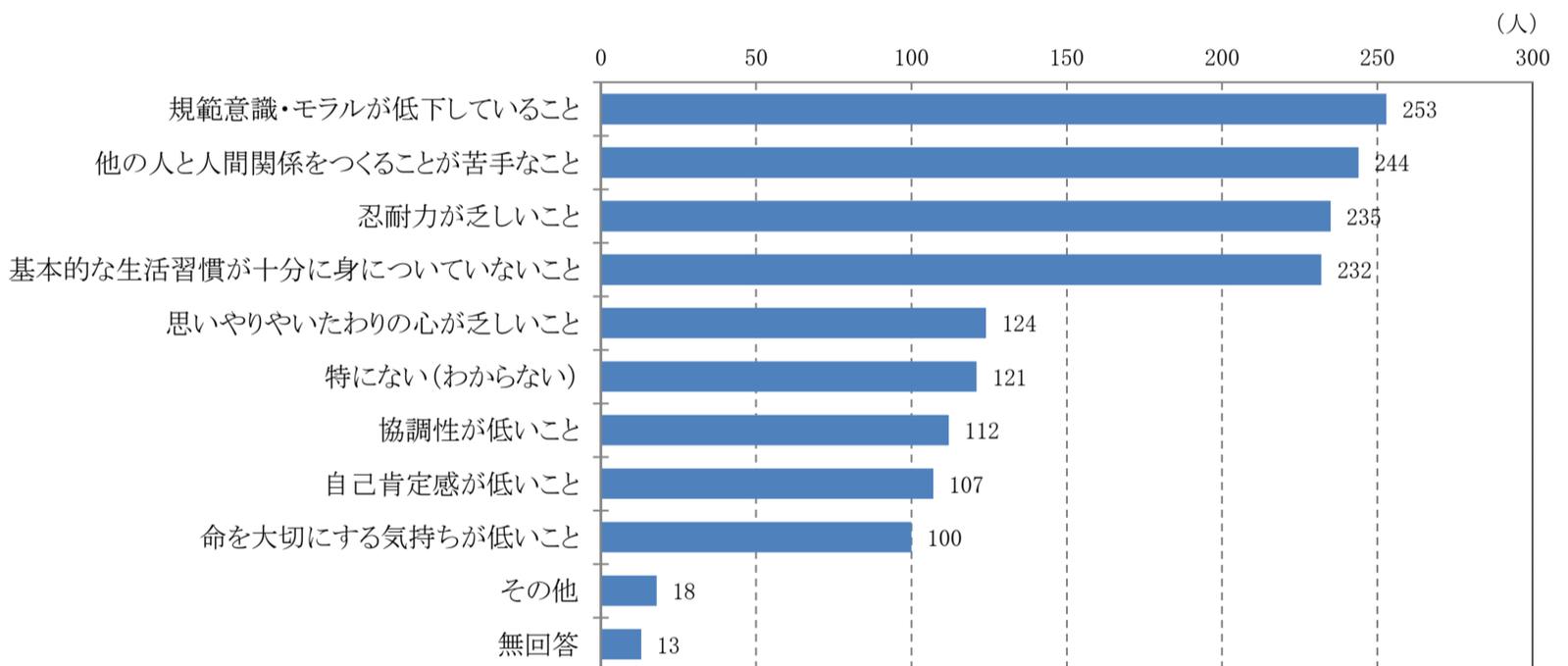


5 調査結果

問1 あなたは、現在の青少年(18歳未満の子ども及びおおむね30歳までの若者)の考え方や行動などに気になる点があるとすれば、どのようなことだと思いますか。

(複数回答) 回答者 705 人

	回答数	総回答数に占める割合	回答者に占める割合
規範意識・モラルが低下していること	253	16.2%	35.9%
他の人と人間関係をつくるのが苦手なこと	244	15.7%	34.6%
忍耐力が乏しいこと	235	15.1%	33.3%
基本的な生活習慣が十分に身につけていないこと	232	14.9%	32.9%
思いやりやいたわりの心が乏しいこと	124	8.0%	17.6%
特にない(わからない)	121	7.8%	17.2%
協調性が低いこと	112	7.2%	15.9%
自己肯定感が低いこと	107	6.9%	15.2%
命を大切にすることが低いこと	100	6.4%	14.2%
その他	18	1.2%	2.6%
無回答	13	0.8%	1.8%
計	1,559	100.0%	-



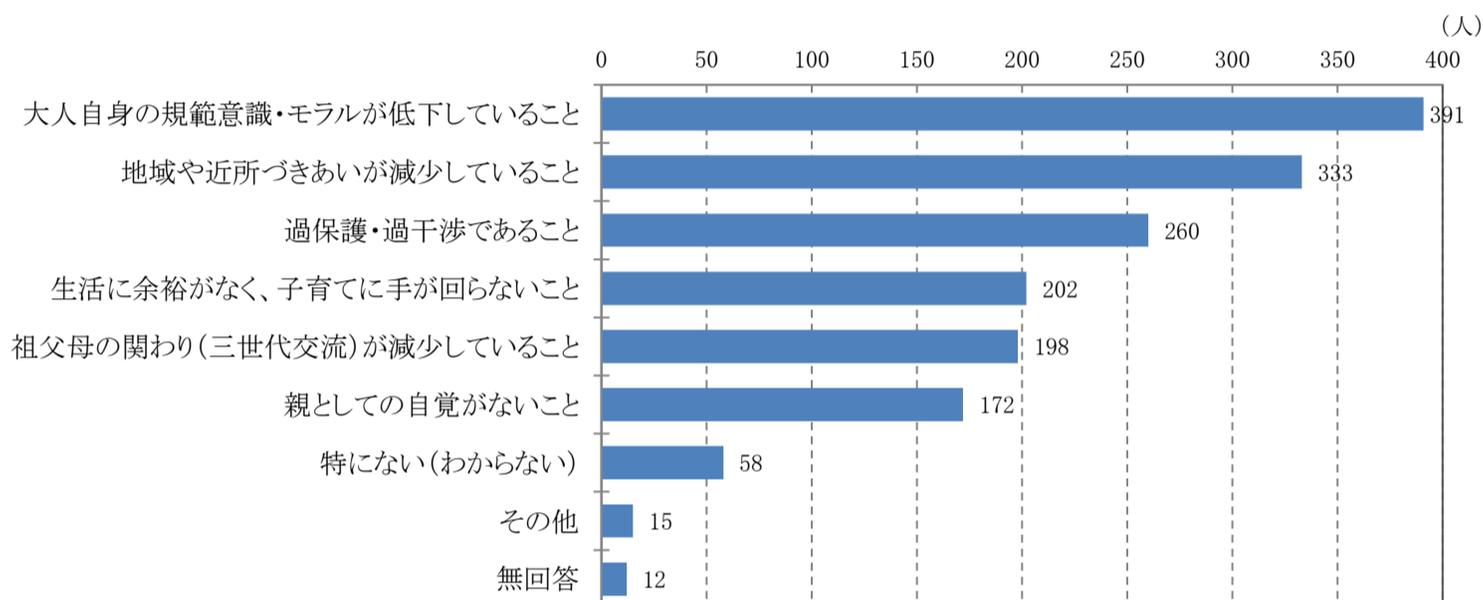
「その他」のうち主なもの

- ・ 対人コミュニケーションを苦手なところ
- ・ SNSを使い過ぎ、SNSを信頼しすぎ
- ・ 自己中心的な人が多い
- ・ インターネットリテラシーがひくい。 インターネット上での人権侵害
- ・ 自主性がない

問2 あなたは、現在の保護者や家庭での教育に気になる点があるとすれば、どのようなことだと思いますか。

(複数回答) 回答者 705 人

	回答数	総回答数 に占める割合	回答者 に占める割合
大人自身の規範意識・モラルが低下していること	391	23.8%	55.5%
地域や近所づきあいが減少していること	333	20.3%	47.2%
過保護・過干渉であること	260	15.8%	36.9%
生活に余裕がなく、子育てに手が回らないこと	202	12.3%	28.7%
祖父母の関わり(三世代交流)が減少していること	198	12.1%	28.1%
親としての自覚がないこと	172	10.5%	24.4%
特にない(わからない)	58	3.5%	8.2%
その他	15	0.9%	2.1%
無回答	12	0.7%	1.7%
計	1,641	100.0%	-



「その他」のうち主なもの

- ・ 親の自己肯定感が低い。また、親の影響が強すぎる
- ・ 何かあっても、注意や声をかけづらい。後から文句を言われるような世の中になってしまっている気がします
- ・ ネットの情報に振り回されているような気がします
- ・ 孫がいますが、ゲームやユーチューブをやっていない時、何をしていたかわからない様で心配
- ・ 子どもの教育についての知識が低い。自己中心的な考え(親の)
- ・ 一人親世帯の増加 影響を受けるのは子供

問3 あなたは、子どもの安全・安心なインターネット利用を進めるために、どのような対策が必要だと思いますか。

(複数回答) 回答者 705 人

	回答数	総回答数 に占める割合	回答者 に占める割合
フィルタリング利用の促進	490	27.5%	69.5%
ゲームやSNSなどのネット依存対策	376	21.1%	53.3%
子どもの情報活用能力(情報モラルを含む)の育成	308	17.3%	43.7%
子どもによる自主的なルールづくりの促進	198	11.1%	28.1%
インターネットトラブル等の専門的な相談窓口の整備	183	10.3%	26.0%
親に対する啓発活動や研修会等の実施	119	6.7%	16.9%
学校やPTAによる夜間利用制限等の申し合わせ	72	4.0%	10.2%
特にない(わからない)	14	0.8%	2.0%
無回答	13	0.7%	1.8%
その他	12	0.7%	1.7%
計	1,785	100.0%	

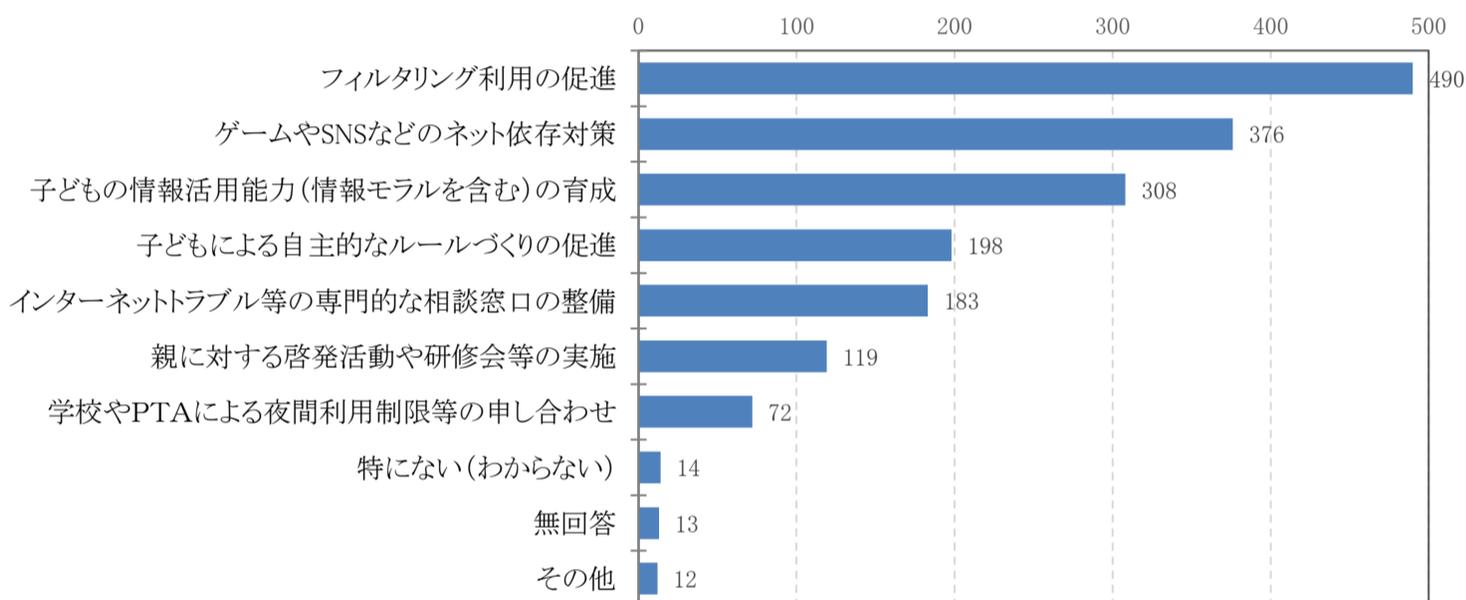
(※1)フィルタリングとは

スマートフォンなどでインターネットのサイト等を閲覧したりアプリを使用する際に、子どもを有害・違法なサイトやアプリの危険から守ることができる仕組みのことをいいます。

(※2)情報モラルとは

情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度のことをいいます。

(人)



「その他」のうち主なもの

- ・ 現実と虚構を理解させる
- ・ スマホをもたせてよい年齢を法令で定める
- ・ 学校での教育
- ・ 信頼関係の構築しかない。子供は大人以上に情報量が多く、セキュリティ対策など効果がない
- ・ 一口に禁止と言っても一家庭ごとに違いがある為、家庭内で決定するのが一番かと思う
- ・ ネット環境に入る前に、幼児の頃からのルール、教育

問4 あなたは、地域の青少年とどのような関わり方をしていますか。

(複数回答)

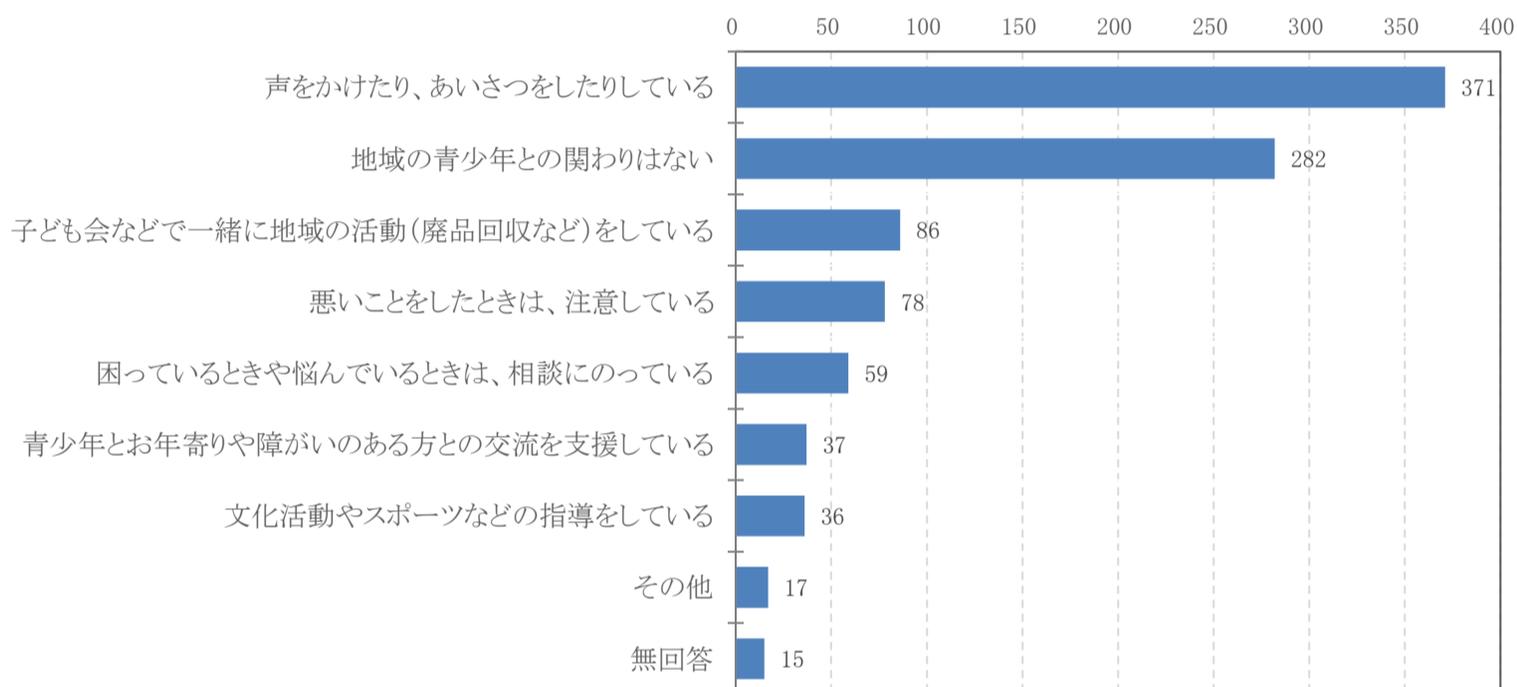
回答者

705

人

	回答数	総回答数 に占める割合	回答者 に占める割合
声をかけたり、あいさつをしたりしている	371	37.8%	52.6%
地域の青少年との関わりはない	282	28.7%	40.0%
子ども会などで一緒に地域の活動(廃品回収など)をしている	86	8.8%	12.2%
悪いことをしたときは、注意している	78	8.0%	11.1%
困っているときや悩んでいるときは、相談にのっている	59	6.0%	8.4%
青少年とお年寄りや障がいのある方との交流を支援している	37	3.8%	5.2%
文化活動やスポーツなどの指導をしている	36	3.7%	5.1%
その他	17	1.7%	2.4%
無回答	15	1.5%	2.1%
計	981	100.0%	-

(人)



「その他」のうち主なもの

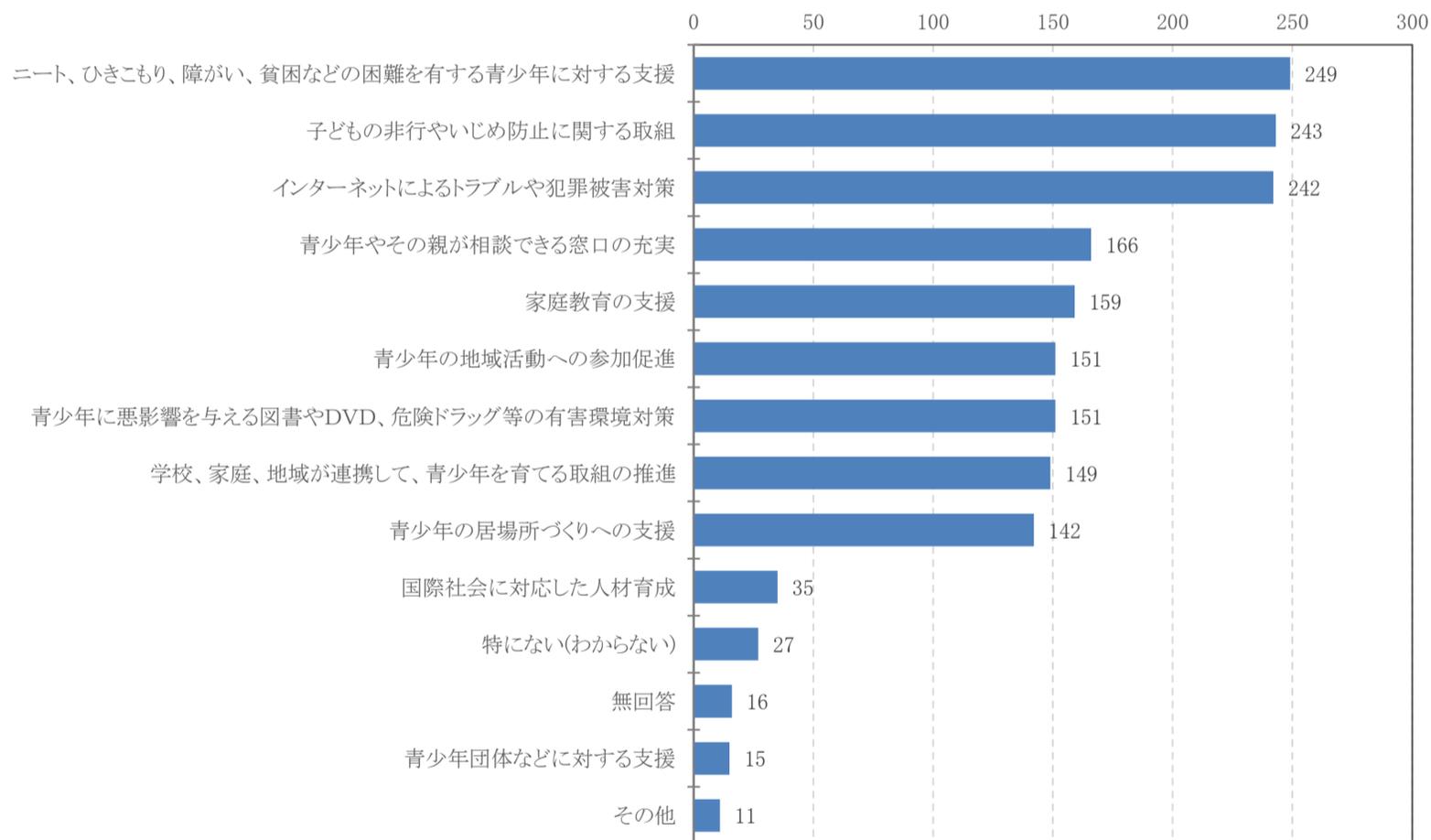
- ・ ボランティア活動(歴史博物館で小学生対象に体験補助等)
- ・ 民生委員・児童委員として活動している
- ・ 自転車通学の生徒と会うとあいさつをするようにしている
- ・ 小学生登校時の付きそい
- ・ 子供農園

問5 あなたは、青少年の健全育成のために、行政施策としてどのようなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。

(複数回答) 回答者 705 人

	回答数	総回答数 に占める割合	回答者 に占める割合
ニート、ひきこもり、障がい、貧困などの困難を有する青少年に対する支援	249	14.2%	35.3%
子どもの非行やいじめ防止に関する取組	243	13.8%	34.5%
インターネットによるトラブルや犯罪被害対策	242	13.8%	34.3%
青少年やその親が相談できる窓口の充実	166	9.5%	23.5%
家庭教育の支援	159	9.1%	22.6%
青少年の地域活動への参加促進	151	8.6%	21.4%
青少年に悪影響を与える図書やDVD、危険ドラッグ等の有害環境対策	151	8.6%	21.4%
学校、家庭、地域が連携して、青少年を育てる取組の推進	149	8.5%	21.1%
青少年の居場所づくりへの支援	142	8.1%	20.1%
国際社会に対応した人材育成	35	2.0%	5.0%
特にない(わからない)	27	1.5%	3.8%
無回答	16	0.9%	2.3%
青少年団体などに対する支援	15	0.9%	2.1%
その他	11	0.6%	1.6%
計	1,756	100.0%	-

(人)



「その他」のうち主なもの

- ・ 公民館などで勉強を教えて欲しい
- ・ 親が責任をもち育てようと思う気持ちを育てていく対策
- ・ 地域のみんなでの活動
- ・ 子どもの長所を活かせる場の提供
- ・ 部活動のような自身の年代だけでなく、上下の世代と関われる活動に身をおける事が大切
- ・ 職場であれ、学校であれ、居場所があれば、と思います

問6 その他、県の青少年健全育成施策に関してご意見などがございましたら、お聞かせください。

- ・ 自身が小学生の頃にインターネットを通してのトラブルに巻き込まれたことがあるので、日頃から教育の過程において、使い方やマナーなども細かく指導していただけたらいいと思う。

多様化が進んだ今は、自由に好きなことをできると考えている人が多いように思います。一見、素晴らしいことですが、決めることが出来ずに何もできなくなっている人が出てきているように思います。一人一人、性格も特性も違うので一括りに「青少年」と定義することも難しくなっているような気がします。デジタル化が進んで、人と直接関わる機会が減っているのも問題だと思います。

- ・ 「ネットの友達」と「近所の友達」との区別などなく全て「友達」という感じになっています。親としても違うことや犯罪などの危険性について伝えていますが、子供との考え方が違うため、かみ合っていません。こういった指導について親が受けれるセミナーなどあってほしい。

子供の方が抵抗感が少なく地域や多世代と関われると思うので、関わる機会が増えると良い。そうすることで、子供の視野が広がるし、地域に愛着がわくと思う。長い目で見たら、地域と関わる事を普通に感じて、地元に残る人が増えて、社会全体としては良くなる気がします。

- ・ 今に始まった事では無いと思うが、青少年時代の成功体験や達成感を体で感じるという事が出来ない子が多く感じる。県として子供支援や高齢者支援は目に見えるが青少年にはあまり手をかけてるようには見えづらい。行政だけの支援は広がりがないので官民で力を合わせて幅広くやっていると岐阜県としての活性化もあるのではと思う。

昔の若者に比べて、よい面もたくさん持っていると感じる点もあります。悪い点ばかりに着目せず、よい面をさらに伸ばしてあげるようなサポートや場の提供が、結果的に悪化していたり、時代の変化により生まれてきた新たな課題に対するケア(緩和)にも繋がるのではないかと感じます。

- ・ ネット社会になり、子ども達の遊び方、人との関わり方が変わってしまいました。暴言、素直な心など、道徳やDVDを通して学べる機会を増やして頂けたらと思います。親さん世代にも必要かもしれません。

不登校の子に勉強をサポートできる機会が増えると良いと思います。リモートでもできると思います。岐阜市から本巣市に転居して思いますが、子供会はやり方によっては小学生を健全にする力があると思います。親の手間は必要になります。

- ・ 家庭環境が共働き等により家族間の会話が減少している気がします。

- ・ 地域全体として、連携した取り組みができるような具体的な施策をお願いします。

最近、不登校の児童生徒が増加しているが、親子が社会から孤立してしまわないように、学校だけでなく地域や行政など、いろんな方面からの働きかけがあると良いと思う。

- ・ 朝、通学する学生に声かけをしています。年齢が進むにつれて、見て見ぬふりをして通りすぎる子が増えてきました。各家庭、地域の方がみんなであいさつをすることから、はじめると良いのでは。

最近の若者は、心が美しい子が多い。しかし忍耐力が足りない。心が折れそうな若者が多いので、学校の心の教育が必要。

- ・ ひきこもりやニートが多くいると思います。仕事をして長続きしないこと、人間関係がうまくいかない事など、個人の遊びが多い。友達との協力関係がたもてないなど、私自身のこどももふくめ何でも相談できる一人でいい子供にそんな友人がいれば、変化していけるのではと思う。親にも責任はあると思うけど、どう接して行けばいいのか、分からないことがある。

青少年自身への支援も必要と思うが、まずは子育て世代の親への支援、情報提供、取組、研修等への参加促進、教育が必要ではないか。支援のいる子どもたちは、親(家庭)でブロックされてしまい、支援が必要か必要でないか、周囲にはわからないことがほとんどであると思われるから。(民生委員、児童委員をやっているので、思えることです)。

- 身近に相談窓口がない事は問題だと思う。気軽に相談できるように、心理カウンセラー等の配置をしてLINEやSNSでも相談できるように、人員を確保すべき。なやみを抱えている人は想像よりはるかに多い(自分のまわりでも)

- 青少年が被害者になる危険とともに、悪質な言葉を投稿することで、加害者になる危険もあると思うので、ネットを使うときは、両面への教育が必要だと思いました。ネットによるいじめもあると思います。簡単に言葉を使えるからこそその恐怖も知ってもらわなければならないと思います。